SF １-2 1：呼吸器 1（呼吸器の構造と機能１）

日時：8 月 31 日（月）　2 時限

担当者：藤田　恵子(解剖学)

内容：

1. ★PS-02-07-01・[別表 2-6 呼吸器系] 外呼吸（肺呼吸）と内呼吸（細胞呼吸）を説明できる。
2. ★PS-02-07-01・[別表 2-6 呼吸器系] , PS-02-16-01・[別表 2-15 耳鼻・咽喉・口腔系]
   呼吸器系を構成する器官の名称を列挙し，それぞれの構造を説明できる。

キーワード：

呼吸 respiration（外呼吸と内呼吸），上気道と下気道，鼻腔 nasal cavity，副鼻腔，咽頭 pharynx，喉頭 larynx，気管 trachea，気管支 bronchus（bronchi），肺 lung

教科書：

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版：pp.292～329 参照

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく(20 分)。

復習：昨年度の SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する(10 分)。

SF １-2 2：呼吸器 2（呼吸器の構造と機能２）

日時：8 月 31 日（月）　3 時限

担当者：藤田　恵子(解剖学)

内容：

1. ★PS-02-07-01・[別表 2-6 呼吸器系] 縦隔を区分し説明できる。
2. ★PS-02-07-01・[別表 2-6 呼吸器系] 胸膜を説明できる。
3. ★PS-02-07-01・[別表 2-6 呼吸器系] 呼吸運動に関わる筋を説明できる。
4. ★PS-01-02-25・[別表 2-6 呼吸器系] 呼吸器系の形成過程を説明できる。

キーワード：

縦隔 mediastinum，胸膜 pleura，臓側胸膜 visceral pleura，壁側胸膜 parietal pleura，胸膜腔 pleural cavity，内肋間筋，外肋間筋，横隔膜 diaphragm

教科書：

◆ 日本人体解剖学 上巻（南山堂）第 20 版：pp.53～61, 253～261 参照

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版：pp.7, 8, 311, 328～331 参照

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく(20 分)。

復習：昨年度の SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する(10 分)。

SF １-2 3：循環器 1（動脈系 1）

日時：9 月 7 日（月）　1 時限

担当者：藤田　恵子(解剖学)

内容：

1. ★PS-02-06-01・[別表 2-5 循環器系, 2-6 呼吸器系]
   体循環（大循環）と肺循環（小循環）を説明できる。
2. ★PS-02-06-01・[別表 2-5 循環器系]
   大動脈 aorta と主な分枝を図示し，直接枝の名称を列挙できる。
3. ★PS-02-06-01・[別表 2-5 循環器系] 胸大動脈および腹大動脈の壁側枝・臓側枝を説明できる。

キーワード：

大動脈 aorta，上行大動脈 ascending aorta，大動脈弓 aortic arch，胸大動脈 thoracic aorta，腹大動脈 abdominal aorta，壁側枝と臓側枝，機能血管と栄養血管

教科書：
◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版：pp.2～4, 45～52, 88～107 参照
準備：
予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく(20 分)。
復習：昨年度の SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する(10 分)。

SF １-2 4：循環器 2（動脈系 2）

日時：9 月 7 日（月） 2 時限
担当者：藤田 恵子(解剖学)
内容：
1. ★PS-02-06-01・[別表 2-5 循環器系] 上肢の動脈の経路を説明できる。
2. ★PS-02-06-01・[別表 2-5 循環器系] 下肢の動脈の経路を説明できる。

キーワード：
鎖骨下動脈 subclavian artery，腋窩動脈 axillary artery，上腕動脈 brachial artery，
橈骨動脈 radial artery，尺骨動脈 ulnar artery，浅・深掌動脈弓，斜角筋隙，
外腸骨動脈 external iliac artery，大腿動脈 femoral artery，膝窩動脈 popliteal artery，
大腿三角（スカルパの三角），内転筋管
教科書：
◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版：pp.69～88, 108～119 参照
準備：
予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく(20 分)。
復習：昨年度の SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する(10 分)。

SF １-2 5：循環器 3（静脈系）

日時：9 月 7 日（月） 3 時限
担当者：藤田 恵子(解剖学)
内容：
1. ★PS-02-06-01・[別表 2-5 循環器系] 深静脈と浅静脈（皮静脈）を説明できる。
2. ★PS-02-06-01・[別表 2-5 循環器系] 上肢の静脈血が心臓に戻る経路を説明できる。
3. ★PS-02-06-01・[別表 2-5 循環器系] 下肢の静脈血が心臓に戻る経路を説明できる。
4. ★PS-02-06-01・[別表 2-5 循環器系] くすりの吸収経路から静脈系を説明できる。

キーワード：
上大静脈 superior vena cava，下大静脈 inferior vena cava，深静脈，浅静脈（皮静脈），循環障害，
くすりの吸収経路
教科書：
◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版：pp.120～124, 132～138, 145～148 参照
準備：
予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく(20 分)。
復習：昨年度の SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する(10 分)。

SF １-2 6：循環器 4（血管とリンパ管の構造）

日時：9 月 15 日（火） 4 時限
担当者：栗崎 知浩(解剖学)
内容：
1. ★PS-02-06-01・[別表 2-5 循環器系] 血液循環の概略を説明できる。

2. ★PS-01-02-12 動脈・毛細血管・静脈の機能について説明できる。
3. ★PS-02-02-01・[別表 2-1 血液・造血器・リンパ系] リンパ系の機能を説明できる。
4. ★PS-02-06-01・[別表 2-5 循環器系] リンパ循環の概略を説明できる。

キーワード：

弾性型動脈，筋型動脈，連続性毛細血管，有窓性毛細血管，物質交換，細胞外液，間質液，血圧，膠質浸透圧，浮腫，毛細リンパ管，リンパ管，リンパ本幹，胸管，静脈角，所属リンパ節，リンパ行性転移

教科書：

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版：pp.2～4, 29～38, 153～159 参照

参考書：

◆ 標準組織学 各論 (医学書院) 第 6 版

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。所要時間 10 分

復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。所要時間 15 分

SF １-2 7：循環器 5（心臓の概観）

日時：9 月 15 日（火） 5 時限

担当者：高野　和敬(解剖学)

内容：

★PS-02-06-01, [別表]循環器系)

1. 心臓が体のどこに位置するかを述べることができる。
2. 心膜および心臓壁の構造を説明できる。
3. 心臓をとりかこむ組織構造について説明できる。
4. 心臓の基本的な機能について説明できる。

キーワード：

心尖，心底，線維性心膜，漿膜性心膜，心膜腔，心内膜，心筋，心外膜，冠状溝，前・後室間溝，心房中隔，心室中隔，心膜横洞，心膜斜洞

教科書：

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版 : pp.5～24 参照

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。(15 分程度)

復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30 分程度)

SF １-2 8：循環器 6（脳と心臓の循環動態）

日時：9 月 17 日（木） 1 時限

担当者：藤田　恵子(解剖学)

内容：

1. ★PS-02-06-01・[別表 2-5 循環器系] 脳の動脈系の特徴を説明できる。
2. ★PS-02-06-01・[別表 2-5 循環器系] 脳の静脈系の特徴を説明できる。
3. ★PS-02-06-01・[別表 2-5 循環器系] 心臓の動脈・静脈を説明できる。

キーワード：

大脳動脈輪（ウィリス動脈輪），内頚動脈 internal carotid artery，椎骨動脈 vertebral artery，硬膜静脈洞，海綿静脈洞，内頚静脈，板間静脈，導出静脈，冠動脈（冠状動脈）coronary artery，冠状静脈洞 coronary sinus

教科書：

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版： pp.18～22, 62～68, 124～132 参照.

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく(20 分)。

復習：昨年度の SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する(10 分)。

SF １-2 9：循環器 7（心臓の発生）

日時：9 月 28 日（月） 1 時限

担当者：高野　和敬(解剖学)

内容：

1. ★PS-01-02-24) 心臓発生の過程の概略について説明できる。
2. ★[別表]疾患) 主要な先天性心疾患の概略について説明できる。

キーワード：

中胚葉，心臓原基，心筒，静脈洞，原始心房，原始心室，心臓ループ，背側心間膜，
一次・二次心房中隔，卵円孔，心室中隔，心房中隔欠損症，心室中隔欠損症，大血管転移症，
ファロー四徴症，動脈幹遺残

教科書：

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版 : pp.25～28 参照

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。(15 分程度)

復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30 分程度)

SF １-2 10：循環器 8（大血管の発生と胎児循環）

日時：9 月 28 日（月） 2 時限

担当者：高野　和敬(解剖学)

内容：

1. ★PS-01-02-24) 原始血管系の発生について説明できる。
2. ★PS-01-02-24) 大血管の発生過程について概略を説明できる。
3. ★GE-03-03-01, PS-01-02-24) 胎児循環について説明できる。
4. ★GE-03-03-01, PS-01-02-24) 胎児循環から成人循環への変化について説明できる。

キーワード：

大動脈弓，背側大動脈，卵黄嚢動脈，臍動脈，臍静脈，卵円孔，動脈管(ボタロー管)，
静脈管(アランチウス管)，上行大動脈，下行大動脈，総頸動脈，内頸動脈，外頸動脈，鎖骨下動脈，
肺動脈，上大静脈，下大静脈，卵円窩，動脈管索，静脈管索，臍動脈索，肝円索

教科書：

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版：pp.50～51, 149～152 参照

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。(15 分程度)

復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30 分程度)

SF １-2 11：消化器 1（消化管の区分と発生）

日時：10 月 5 日（月） 1 時限

担当者：高野　和敬(解剖学)

内容：

1. ★PS-01-02-10, PS-02-08-01, [別表]消化器系) 中空性器官の基本的構造について説明できる。
2. ★PS-02-08-01, [別表]消化器系) 実質性器官の基本的構造について説明できる。
3. ★PS-02-08-01, [別表]消化器系) 消化管と消化腺を構成する器官の名称を列挙できる。
4. ★PS-01-02-25) 消化管の発生における回転（位置の変化）について説明できる。
5. ★PS-02-08-01, [別表]消化器系) 腹側／背側腸間膜について説明できる。

キーワード：

粘膜，粘膜上皮，粘膜固有層，粘膜下組織，筋層，漿膜あるいは外膜，実質，支質，
葉間結合組織と小葉間結合組織，門，原腸，前腸，中腸，後腸，中腸の回転，腹側／背側腸間膜

教科書：

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版：pp.190～192, 197, 278～291 参照

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。(15 分程度)

復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30 分程度)

SF １-2 12：消化器 2（口腔，咽頭，食道）

日時：10 月 5 日（月） 2 時限

担当者：藤田　恵子(解剖学)

内容：

1. ★PS-02-08-01・[別表 2-7 消化器系], PS-02-16-01・[別表 2-15 耳鼻・咽喉・口腔系]
   口腔（口蓋，舌，歯，大唾液腺）の構造を説明できる。
2. ★PS-02-08-01・[別表 2-7 消化器系], PS-02-16-01・[別表 2-15 耳鼻・咽喉・口腔系]
   咽頭を区分し，周囲の臓器との連絡を説明できる。
3. ★PS-02-08-01・[別表 2-7 消化器系] 食道の生理的狭窄部を説明できる。

キーワード：

口腔 oral cavity，口蓋 palate，舌 tongue，歯 teeth，唾液腺 salivary glands（耳下腺・顎下腺・舌下腺），咽頭 pharynx，食道 esophagus

教科書：

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版：pp.195～233 参照

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく(15 分)。

復習：昨年度の SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する(10 分)。

SF １-2 13：消化器 3（胃，十二指腸，膵臓）

日時：10 月 5 日（月） 3 時限

担当者：藤田　恵子(解剖学)

内容：

1. ★PS-02-08-01・[別表 2-7 消化器系] 胃の各部の名称を図示し，説明できる。
2. ★PS-01-02-25 胃の発生（胃の回転）を説明できる。
3. ★PS-02-08-01・[別表 2-7 消化器系] 十二指腸と周囲の臓器との位置関係を説明できる。
4. ★PS-01-02-25, PS-02-08-01・[別表 2-7 消化器系] 膵臓の発生と構造を説明できる。

キーワード：

胃 stomach，十二指腸 duodenum，膵臓 pancreas，膵芽，膵頭，膵体，膵尾，鉤状突起，膵切痕，胆路，膵管，大十二指腸乳頭（ファーター乳頭）

教科書：

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版：pp.233～250, 273～279, 281 参照

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく(15 分)。

復習：昨年度の SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する(10 分)。

SF １-2 14：消化器 4（肝臓と胆道系）

日時：10 月 6 日（火） 5 時限

担当者：高野 和敬(解剖学)

内容：

1. ★PS-02-08-01, [別表]消化器系) 肝臓の位置と肉眼構造について説明できる。
2. ★PS-02-08-01, [別表]消化器系) 肝小葉の基本的な構造と機能について説明できる。
3. ★PS-02-08-01, [別表]消化器系) 胆汁の分泌経路について説明できる。
4. ★PS-02-06-01, [別表]循環器系) 門脈系の血液循環について説明できる。

キーワード：

右葉，左葉，方形葉，尾状葉，肝門，門脈，脾静脈，上・下腸間膜静脈，胆管，固有肝動脈，肝区域，肝小葉，肝細胞索，洞様毛細血管（類洞），中心静脈，門脈三つ組，グリソン鞘，胆嚢管，総肝管，総胆管，大十二指腸乳頭（ファーター乳頭），オッディ括約筋，門脈圧亢進症

教科書：

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版： pp.138～142, 261～273 参照

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。(15 分程度)

復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30 分程度)

SF １-2 15：消化器 5（小腸と大腸，腹膜）

日時：10 月 8 日（木） 1 時限

担当者：藤田 恵子(解剖学)

内容：

1. ★PS-02-08-01・[別表 2-7 消化器系] 小腸と大腸（結腸）の肉眼的・組織学的区別を説明できる。
2. ★PS-01-02-25 中腸ループの回転と後腹壁への２次的固着（背側腸間膜）を説明できる。
3. ★PS-02-08-01・[別表 2-7 消化器系] 腹膜と臓器の関係を説明できる。

キーワード：

十二指腸 duodenum・空腸 jejunum・回腸 ileum・盲腸 cecum・虫垂 appendix・結腸 colon・直腸 rectum・肛門 anus，結腸膨起・結腸ヒモ・腹膜垂・半月ヒダ，輪状ヒダ・腸絨毛，腹膜 peritoneum，腹膜腔 peritoneal cavity，臓側腹膜 visceral peritoneum，壁側腹膜 parietal peritoneum，腹膜後器官 retroperitoneal organ，腸間膜 mesentery

教科書：

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版：pp.240～261, 279～291 参照.

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく(15 分)。

復習：昨年度の SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する(10 分)。

SF １-2 16：泌尿器 1（腎臓・尿路の構造）

日時：10 月 8 日（木）　2 時限

担当者：栗崎　知浩(解剖学)

内容：

1. ★PS-02-09-01・[別表 2-8 腎・尿路系] 泌尿器系の機能について説明できる。
2. ★PS-02-09-01・[別表 2-8 腎・尿路系] 腎臓・尿路の位置と構造について説明できる。

キーワード：

腹膜後隙, 骨盤腔, 脂肪被膜，腎門，腎洞，実質，皮質，髄質，腎盤(腎盂)，腎杯，腎乳頭，腎錐体，尿管 ureter，膀胱 bladder，尿道 urethra，内尿道口，外尿道口

教科書：

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版：pp.332～353 参照

参考書：

◆ 標準組織学 各論 (医学書院) 第 6 版

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。所要時間 10 分

復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。所要時間 15 分

SF １-2 17：泌尿器 2（腎臓の機能）

日時：10 月 8 日（木）　3 時限

担当者：栗崎　知浩(解剖学)

内容：

1. ★PS-02-09-01・[別表 2-8 腎・尿路系] 尿産生過程における血液濾過について説明できる。
2. ★PS-02-09-01・[別表 2-8 腎・尿路系] 尿産生過程における濾過物質再吸収について説明できる。

キーワード：

腎小体，ボウマン嚢，糸球体，尿細管，集合管，
糸球体濾過，限外濾過，血液尿関門，有窓性内皮，糸球体基底膜，足細胞
受動輸送，能動輸送，調節性水吸収

教科書：

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版：pp.332～353 参照

参考書：

◆ 標準組織学 各論 (医学書院) 第 6 版

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。所要時間 10 分

復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。所要時間 15 分

SF １-2 18：生殖器 1（男性の生殖器）

日時：10 月 13 日（火）　4 時限

担当者：高野　和敬(解剖学)

内容：

1. ★PS-02-10-01, [別表]生殖器系) 男性生殖器を構成する器官とその位置を説明できる。
2. ★[別表]生殖器系) 精子形成の過程について概略を説明できる。
3. ★PS-02-10-01, [別表]生殖器系) 男性生殖路の基本的な構造と機能について説明できる。

キーワード：

精巣，精細管，間質，精巣上体，精管，射精管，陰茎，精嚢，前立腺，尿道球腺，生殖腺刺激ホルモン(ゴナドトロピン)，男性ホルモン(アンドロゲン)

教科書：

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版： pp.354～369, 384～397 参照

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。(15 分程度)

復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30 分程度)

SF １-2 19：生殖器 2（女性の生殖器）

日時：10 月 13 日（火） 5 時限

担当者：高野　和敬(解剖学)

内容：

1. ★PS-02-10-01, [別表]生殖器系) 女性生殖器を構成する器官とその位置を説明できる。
2. ★[別表]生殖器系) 卵の成熟過程および排卵の概略について説明できる。
3. ★PS-02-10-01, [別表]生殖器系) 女性の生殖路の基本的な構造と機能について説明できる。
4. ★[別表]生殖器系) 女性の性周期の概略について説明できる。
5. ★PS-02-10-01, [別表]生殖器系) 卵巣および子宮の支持装置について説明できる。

キーワード：

卵巣，卵胞，黄体，卵管，子宮，膣，卵巣提索，固有卵巣索，子宮広間膜，子宮円索，基靱帯，直腸子宮窩(ダグラス窩)，生腺刺激ホルモン(ゴナドトロピン)，女性ホルモン[エストロゲン(卵胞ホルモン)，プロゲステロン(黄体ホルモン)]，卵巣周期，月経周期

教科書：

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版 : pp.369～399 参照

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。(15 分程度)

復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。授業プリントと教科書等を用いて授業内容についての理解を深め、シラバス内容を説明できるようにする。(30 分程度)

SF １-2 20：内分泌（ホルモンの機能と障害）

日時：10 月 15 日（木） 1 時限

担当者：栗崎　知浩(解剖学)

内容：

1. ★PS-02-14-01・[別表 2-13 内分泌・栄養・代謝系] 内分泌器官を列挙できる。
2. ★PS-01-02-19, PS-02-14-01・[別表 2-13 内分泌・栄養・代謝系] ホルモンの標的と作用について説明できる。

キーワード：

恒常性 homeostasis，細胞外液，標的器官，ネガティブフィードバック negative feedback，
視床下部，下垂体，甲状腺，副腎，精巣，卵巣，膵島（ランゲルハンス島），胃腸膵内分泌系，
I 型糖尿病，尿崩症

教科書：

◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版：pp.408～421

参考書：

◆ 標準組織学 各論 (医学書院) 第 6 版

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。所要時間 10 分

復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。所要時間 15 分

SF １-2 21：感覚器 1（感覚の受容器）

日時：10 月 19 日（月）　1 時限

担当者：栗崎　知浩(解剖学)

内容：

1. ★PS-01-02-17 感覚受容器を列挙できる。
2. ★PS-01-02-17 感覚受容器が刺激を活動電位に変換する意味を説明できる。
3. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] ,★PS-02-16-01・[別表 2-15 耳鼻・咽喉・口腔系] 嗅覚器の位置と構造を説明できる。
4. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] ,★PS-02-16-01・[別表 2-15 耳鼻・咽喉・口腔系] 味覚器の位置と構造を説明できる。

キーワード：

刺激，受容器，情報処理，特殊感覚，一般感覚，体性感覚，臓性感覚，
皮膚感覚，固有感覚，嗅覚，味覚，聴覚，平衡覚，視覚
感覚細胞，感覚毛

教科書：

◆ 日本人体解剖学 上巻（南山堂）第 20 版：pp.426, 452
◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版：pp.500～504

参考書：

◆ 標準組織学 各論 (医学書院) 第 6 版

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。所要時間 10 分
復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。所要時間 15 分

SF １-2 22：感覚器 2（視覚器）

日時：10 月 19 日（月）　2 時限

担当者：栗崎　知浩(解剖学)

内容：

1. ★PS-02-15-01・[別表 2-14 眼・視覚系] 眼球の構造を説明できる。
2. ★PS-02-15-01・[別表 2-14 眼・視覚系] 外眼筋・内眼筋とその支配神経を説明できる。

キーワード：

眼窩，視軸，角膜，強膜，虹彩，毛様体，脈絡膜，網膜，神経層，色素上皮層，
視細胞(杆体と錐体)，視神経，強膜静脈洞，眼房水，水晶体，毛様体小帯，硝子体，
黄斑，中心窩，視神経乳頭(視神経乳頭)，網膜中心動脈，眼動脈，光量調節，遠近調節
上直筋，下直筋，外側直筋，内側直筋，上斜筋，下斜筋，動眼神経，滑車神経，外転神経

教科書：

◆ 日本人体解剖学 上巻（南山堂）第 20 版：pp.426, 452～453
◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版：pp.424～462

参考書：

◆ 標準組織学 各論 (医学書院) 第 6 版

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。所要時間 20 分
復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。所要時間 15 分

SF １-2 23：感覚器 3（聴覚器）

日時：10 月 19 日（月）　3 時限

担当者：栗崎　知浩(解剖学)

内容：

1. ★PS-02-16-01・[別表 2-15 耳鼻・咽喉・口腔系] 外耳・中耳・内耳の位置を説明できる。
2. ★PS-02-16-01・[別表 2-15 耳鼻・咽喉・口腔系] 内耳に空気の振動が伝えられる仕組みを説明できる。
3. ★PS-02-16-01・[別表 2-15 耳鼻・咽喉・口腔系] 内耳の構造と聴覚・平衡覚の受容器を説明できる。

キーワード：

外耳道，鼓膜，鼓室，耳小骨，耳管，錐体岩様部，前庭窓，蝸牛窓，
骨迷路，骨半規管，前庭，蝸牛，膜迷路，半規管，球形嚢，卵形嚢，蝸牛管，膨大部稜，平衡斑，
前庭階，鼓室階，基底板（膜らせん板），ラセン器(コルチ器)，有毛細胞，
内耳神経（蝸牛神経・前庭神経），伝音(性)難聴，感音(性)難聴

教科書：

◆ 日本人体解剖学 上巻（南山堂）第 20 版：pp.426, 471
◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版：pp.463～499

参考書：

◆ 標準組織学 各論 (医学書院) 第 6 版

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。所要時間 20 分
復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。所要時間 15 分

SF １-2 24：神経系 1（情報の入力・処理・出力）

日時：10 月 22 日（木）　1 時限
担当者：栗崎　知浩(解剖学)
内容：

1. ★PS-01-02-17 外界と内部環境の変化を中枢神経系に入力する機構を説明できる。
2. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 中枢神経系が行う情報処理について説明できる。
3. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] ,★PS-02-05-01・[別表 2-4 運動器(筋骨格)系] 中枢神経系での計算結果が効果器へと出力される機構を説明できる。

キーワード：

求心性 afferent（感覚性 sensory）神経線維，遠心性 efferent（運動性 motor）神経線維，
介在ニューロン網，神経細胞，神経膠細胞，体性 somatic，臓性 visceral

教科書：

◆ 日本人体解剖学 上巻（南山堂）第 20 版：pp.20～22, 356～363

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。所要時間 15 分
復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。所要時間 15 分

SF １-2 25：神経系 2（脳と脊髄の発生）

日時：10 月 22 日（木）　2 時限
担当者：栗崎　知浩(解剖学)
内容：

1. ★PS-01-02-26 外胚葉に由来する神経管が脳と脊髄の原基であることを説明できる。
2. ★PS-01-02-26 神経管から脳ができる過程を説明できる。

キーワード：

神経板，神経溝，神経管 neural tube，神経堤(神経冠)neural crest，
３脳胞期（前脳胞・中脳胞・菱脳胞），５脳胞期（終脳胞，間脳胞，中脳胞，後脳胞，髄脳胞），
脳室，底板，蓋板，基板，翼板

教科書：
◆ 日本人体解剖学 上巻（南山堂）第 20 版：pp.431～447
参考書：
◆ カラー図解 神経解剖学講義ノート，寺島俊雄，金芳堂
準備：
予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。所要時間 10 分
復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。所要時間 15 分

SF １-2 26：神経系 3（大脳皮質と間脳）

日時：11 月 5 日（木） 2 時限
担当者：栗崎　知浩(解剖学)
内容：
1. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 大脳半球の構造について概説できる。
2. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 大脳皮質の層構造と機能局在について説明できる。
3. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 間脳が視床と視床下部からなることを説明できる。
4. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 視床が嗅覚以外の知覚情報の中継点となることを説明できる。
5. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] ,★PS-02-14-01・[別表 2-13 内分泌・栄養・代謝系] 視床下部の機能を説明できる。

キーワード：
前頭葉，頭頂葉，側頭葉，後頭葉，溝，回，白質，灰白質，
機能局在，体部位局在，ブロードマン，ペンフィールド，
第三脳室，視床核（VPL 核，内側・外側膝状体），視床下部ホルモン，下垂体後葉ホルモン
教科書：
◆ 日本人体解剖学 上巻（南山堂）第 20 版：pp.364～389
参考書：
◆ カラー図解 神経解剖学講義ノート，寺島俊雄，金芳堂
準備：
予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。所要時間 15 分
復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。所要時間 15 分

SF １-2 27：神経系 4（脳幹と小脳）

日時：11 月 5 日（木） 3 時限
担当者：栗崎　知浩(解剖学)
内容：
1. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 中脳・橋・延髄が脳幹をつくることを説明できる。
2. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 中脳・橋・延髄の特徴的な構造を説明できる。
3. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 脳幹に出入りする脳神経と脳神経核を説明できる。
4. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 小脳皮質の層構造と線維連絡について説明できる。

キーワード：
大脳脚，上丘，下丘，黒質，
上・中・下小脳脚, 菱形窩，横橋線維，縦橋線維，橋核，
錐体，錐体交叉，オリーブ，
小脳皮質，小脳核，プルキンエ細胞，小脳失調
教科書：
◆ 日本人体解剖学 上巻（南山堂）第 20 版：pp.384～416

参考書：
◆ カラー図解 神経解剖学講義ノート，寺島俊雄，金芳堂
準備：
予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。所要時間 15 分
復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。所要時間 15 分

SF １-2 28：神経系 5（脊髄と伝導路）

日時：11 月 6 日（金） 3 時限
担当者：栗崎 知浩(解剖学)
内容：
1. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 脊髄の分節構造について説明できる。
2. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 脊髄内部の一般構造を説明できる。
3. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 運動神経と知覚神経の原則を発生学から説明できる。
4. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 上行性伝導路について説明できる。
5. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 下行性伝導路について説明できる。

キーワード：
デルマトーム，脊柱管，頚・腰膨大，脊髄円錐，馬尾，終糸，ヤコビー線，髄膜，脳脊髄液(CSF)，
前角，後角，側角，前根，後根，前索，後索，側索，ベル・マジャンディの法則
後索路，脊髄視床路，錐体路
教科書：
◆ 日本人体解剖学 上巻（南山堂）第 20 版：pp.404～430
参考書：
◆ カラー図解 神経解剖学講義ノート，寺島俊雄，金芳堂
準備：
予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。所要時間 15 分
復習：2024 年度 SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する。所要時間 15 分

SF １-2 29：神経系 6（脳神経）

日時：11 月 9 日（月） 2 時限
担当者：藤田 恵子(解剖学)
内容：
1. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 12 対の脳神経の名称（英語名）を列挙できる。
2. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 12 対の脳神経の特徴を説明できる。

キーワード：
Ⅰ. 嗅神経 olfactory nerves， Ⅱ. 視神経 optic nerve， Ⅲ. 動眼神経 oculomotor nerve，
Ⅳ. 滑車神経 trochlear nerve， Ⅴ. 三叉神経 trigeminal nerve， Ⅵ. 外転神経 abducent nerve，
Ⅶ. 顔面神経 facial nerve， Ⅷ. 内耳神経 vestibulocochlear nerve，
Ⅸ. 舌咽神経 glossopharyngeal nerve， Ⅹ. 迷走神経 vagus nerve， Ⅺ. 副神経 accessory nerve，
Ⅻ. 舌下神経 hypoglossal nerve
教科書：
◆ 日本人体解剖学 上巻（南山堂）第 20 版：pp.448～483 参照.
準備：
予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく。内頭蓋底の構造を復習しておく(20 分)。
復習：昨年度の SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する(10 分)。

SF １-2 30：神経系 7（脊髄神経）

日時：11 月 9 日（月）　3 時限

担当者：藤田　恵子(解剖学)

内容：

1. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 31 対の脊髄神経を構成する頚神経（８対），胸神経（12 対），腰神経（５対），仙骨神経（５対），尾骨神経（１対）の特徴を説明できる。
2. ★PS-02-03-01・[別表 2-2 神経系] 脊髄神経叢について説明できる。

キーワード：

脊髄神経 spinal nerve，頚神経（C1～C8）cervical nerve，胸神経（Th1～Th12）thoracic nerve，腰神経（L1～L5）lumbar nerve，仙骨神経（S1～S5）sacral nerve，尾骨神経（Co）coccygeal nerve，脊髄神経叢，腕神経叢 brachial plexus，腰仙骨神経叢 lumbosacral plexus，デルマトーム

教科書：

◆ 日本人体解剖学 上巻（南山堂）第 20 版：pp.404～409, 484～537 参照.

準備：

予習：教科書の上記の該当ページを読んでおく(20 分)。

復習：昨年度の SF1-2 定期試験の該当箇所で学習内容を確認する(10 分)。